

2020 年度事業計画

茅ヶ崎公園自然生態園管理運営委員会

1. 活動方針

茅ヶ崎公園自然生態園(以下、自然生態園)は、かつて四季折々豊かな恵みを人々にもたらし、地域の文化を育んできた里山の貴重な自然を残すために、港北ニュータウンの街づくりで整備されました。

谷戸の源流が残り、湧水が田や池を潤し、生きものを育んでいます。谷戸を囲む丘には雑木林と竹林があります。このように、自然生態園は、横浜という大都市にありながら、貴重な里山の景観と環境を残しています。この自然は長い歴史に積み重ねられた先人と、地域の方々の生活に根ざした努力、そして多くの市民の自然への思いによって守られてきました。



この自然生態園には、自然体験施設として次の3つの役割があります。

- ① 地域の自然と四季を体感できる公園運営
- ② 里山文化を実体験できる場
- ③ 地域の自然を慈しむ心を育み、自然の保全・再生活動に参加するきっかけとなる場

これらの役割を果たすために、次の3つを活動の基本方針とします。

□適切な管理 : 気持ちよく自然を感じ、安心して利用できる公園管理をおこないます。

□自然の再生 : 里山としての豊かな自然環境の再生に取り組みます。

□環境教育 : 地域の方々に自然環境について体感し学ぶ場を提供します。

上記の基本方針のもと、地域の方々に親しまれ、地域と共に発展していく運営を目指します。

2. 活動内容

上記の活動方針を達成するために、下記のような活動を行います。

【施設管理事業】

自然に配慮し、植生豊かな公園づくりを目標に、低木の伐採や、ボランティアと共に行う草刈り・伐採枝の運搬等を行います(p. 4)。

【自然再生事業】

植生管理のために、最近出現した種、生育場所に変化が見られる種、生存が危ぶまれる種、個体数の増減が目立つ種、外来種や移入種等の調査を行います(p. 4)。調査・観察により保護、もしくは駆除等を優先的に行う必要があるエリアを選定し、保全作業を行います。また、在来の水生生物の安定した生息環境維持のため、外来種駆除など積極的な保全活動を行います(一部、専門

知識を要する業務は教育委員会からの委託業務として行います。

【田んぼづくり事業】

田んぼの育む生きものと里山景観を保全していきます(p. 4)。

化学肥料や農薬を使用しない、生態系に配慮した田んぼの維持管理を行います。

近隣小学校の米づくり活動を支援し、子どもたちが稲作に触れる場を提供していきます。



【自然環境教育事業】

「生態園」の名にふさわしく、植物、昆虫、水生生物など、自然の観察の催しを充実させます(p. 5)。参加者に、自然の中でありのままの生態を観察してもらうことで、対象の生きものと里山環境の両方に親しみを持てるようにします。また、正しい情報を提供することを心がけます。題材によって対象年齢が異なるので、催しごとに参加者が興味を持ちやすい内容、説明、雰囲気づくりを工夫します。竹工作のような自然物からものをつくることの楽しさを感じてもらえる体験の催しも提供します。また、未就学児を対象とした、簡単な遊戯を通じて自然に興味を持つきっかけとなるイベントも実施します。下記は今年度開催予定の主なイベントです。

野の花ウォッチング(年間)

4～11月 の毎月1回(8月を除く)、生態園に自生する野の花や実を散策しながら観察します。大人向けですが、植物の生態についての奥深さについて知ることができる内容 となっております。



昆虫探偵団(年間)

2019 年度に初めて本格的に開催した、年間連続ものの昆虫観察イベントです。季節ごとに現れる昆虫を目で探し、捕虫網や時にはトラップを仕掛けて採集し、観察して放します。子どもたちが純粋に昆虫に触れて楽しむことを大事にしています。



ザリガニ釣りとお観察会(8月)

アメリカザリガニの生態や形態について、子どもたちが実際に釣って捕まえたり、触れたりしながら学びます。毎年夏に開催しておりますが、講師は水辺保全作業に従事する大学生スタッフが代々担当し、改善を加えながら、子どもたちが楽しんで学ぶことができるように心掛けております。



親子自然遊び「たき火を楽しもう」(1月)

未就学児親子を対象に、たき火での焼き芋体験と、野山の散策を通じた自然観察を行います。未就学児の視線に合わせて、自然への親しみ・関心を育んでもらうことを心掛けております。



竹工作(2月)

竹を伐り出し、コップ等を作ります。ノコギリや工作道具の扱いは勿論、自然物から物を作る楽しさや竹林管理の重要性について知ってもらうことも心掛けております。

のこぎり体験&ズーラシアへ GO!(3月)

のこぎりの使い方を教わって低木伐りを体験し、「よこはま動物園ズーラシア」に動物に与える様子を見学します。のこぎりの使い方を学べるだけでなく、自分たちが伐った木を動物が食べる様子を見られるため、毎年満足度の高いイベントとなっております。ズーラシアの方々のご協力なくしてはできないイベントです。

【自然の普及啓発事業】

ホームページや SNS、区内小学校や公共施設へのチラシの配布や地域情報誌への執筆等を通じて、里山自然の魅力や旬の情報あらゆる年齢層に伝えます。

区内小学校にアメリカザリガニについての啓発冊子「アメリカザリガニについて」を配布します。



2020年度 維持管理作業計画

下線=共同作業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
定例保全	林: 低木・ササ刈り 竹林: 整備	林: ササ刈り 竹林: 整備	林: 低木・ササ刈り カエル池～溜り: 草刈り	林・園路: 草刈り、ササ刈り		林・園路: 草刈り、ササ刈り カエル池: ゴリガニ駆除
米作り	苗床づくり	田起こし・しろかき ザリガニ駆除	苗とり・田植え 苗なおし	田の草とり・畦の草刈り 水管理	田の草とり・畔の草刈り 水管理	かかし作り 水抜き 畔の草刈り 堆肥づくり
水辺保全	アシ刈り					
ほか	ザリガニ駆除・生物モニタリング・草とササ刈り					
ほか	移入草・スギナとり 筍保護・採集 スズメバチ女王駆除	移入草・スギナとり 筍保護・採集 枯枝点検	草・ササ刈り	草・ササ刈り	草・ササ刈り	草・ササ刈り
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
定例保全	林: 間伐	林: 間伐 林: ササ刈り	林: ササ刈り・落葉かき 竹林: 間伐	林: ササ刈り・間伐 林: 落葉かき	ほだ木作り 林: ササ刈り・間伐	林: ササ刈り
米作り	稲刈り ゴリガニ駆除 堆肥づくり	脱穀 もみすり・精米 堆肥づくり	堆肥づくり	堆肥づくり	堆肥づくり 水入れ	施肥 堆肥づくり
水辺保全	カイボリ アシ刈り					
ほか	アシ・枯草刈り					
ほか	泥さらい					
ほか	落葉・泥さらい					
ほか	カエル保護					
随時	植物・生物の保護、ササ刈り、移入種除去、チップー作業、自然材料の循環利用(伐採木、落葉・刈り草・駆除移入種)、ワーキンググループ開催					
指定管理 業務	施設管理 (トイレ含む)	園路広場/清掃 給排水施設/点検・管柙清掃 工作物/点検・臨時処理 谷戸田/畦、水門修繕・点検清掃 池・流れ/水面清掃・堆積土除去・水路清掃				
	植物管理	1. 雑木林/草刈り・枯木枝除去・剪定・間伐 2. 竹林/間伐 枯木倒木除去 3. 常緑樹林・混交林/枯木・倒木 枯枝除去 4. 草地・湿地/草刈り・浚渫 5. 池・流れ/草刈り・浚渫 6. 水田/稲作作業・畦草刈り・畦管理				
	トイレ管理	点検・清掃 床・便器・手洗い器・棚の清掃、鏡・扉・壁・天井等の清掃、ゴミ・汚物処理、トイレトーパーの補充、軽易な詰まりの復旧、電灯・鍵等設備の確認				
	「維持管理基本水準書」に拠る					
委託業務	生息環境保全	1. 日常管理/池の巡視確認・状態確認・浮遊物除去・周辺清掃・堆積泥・落葉除去、周辺の草刈り・樹木伐採、水生生物生息調査・外来種駆除、 違法捕獲等の監視と通告 2. 簡易水質調査、気温・水温調査、水位湧水量の調査、調査協力 3. 水生生物調査(成魚生存・稚魚浮出・二枚貝生存) 4. 啓発 5. ほか生息環境維持 6. 工程表作成				

2020年度 自然生態園 事業計画

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
自然再生	保全作業	<18, 26> ササ刈り	<16, 24> 雑木林整備	<20, 28> 雑木林整備	<18, 26> 雑木林整備		<19, 27> 雑木林整備 ザリガニ駆除	<17, 25> 雑木林整備	<21, 29> 雑木林整備	<19, 27> 雑木林整備 竹林間伐	<16, 24> 雑木林整備	<20, 28> 雑木林整備 ほだぎ作り	<20> 雑木林整備	
	調査	1. 植生調査<毎月4回~> 2. 鳥類調査<随時> 3. 昆虫調査<随時> 4. 水生生物調査(毎月4回~) かいぼり(10 or 2月)												
	WG	保全管理計画、水辺維持管理具体方針の検討 <随時>												
維持管理	米づくり	<25> *苗床づくり	<9>PM オリエンテー ション	<5> 苗取り	<4> 草とり	<> *草とり	<5> かかしづくり	<3> 稲刈り	<7> 脱穀	<5> もちつき			<6> 施肥・修了式	
			<10> 畦塗り	<6> 田植え		<> 花の観察			<> **もみすり 精米					
			<30> 田起こし しろかき	<> *苗直し										<* リピーター作業> <** スタッフ作業>
自然環境教育	観察会	昆虫 探偵団		<21><27> オリエンテーション ①ベイトトラップ	<11> ②バナナトラップ	<22> ③夏の虫		<18> ④秋の虫			<9> ⑤冬眠女王バ チ探し ⑥発表会			
		昆虫 (一般募集)				<1> 昆虫標本								
		植物	<4> 野の花-春	<2> -春2	<6> -初夏	<4> -夏		<26> -初秋	<24> -秋	<28> -秋2				<> シュンラン
		その他	<25> クモ		<13> ヤゴ		<29> ザリガニ					<23> 鳥		
	調査試行	<~20> ハチトラップ				<> 昔話を聞く	<18> 草木染		<21> リースづくり		<17> 冬眠女王バチ	<> 昔話を聞く	<> たき火でお茶 を楽しもう	
	体験	<11> 草だんご									<29> 親子自然 (たき火)	<21> 竹工作	<13> のこぎり体験	
	<第3土曜>ネイチャークラフト野外教室 めざせ！ザリガニマスター(5月~10月第3日曜)													
広報	フォトコン	通年												
	生態園だより	生態園だより 春			生態園だより 夏			生態園だより 秋			生態園だより 冬			
	ニュースレター	ニュースレター<毎月>												

2020年度 収支計画書

2020年4月1日～2021年3月31日まで

(単位：円)

科 目	横浜市指定管理事業	一般会計	合計	
I 経常収益				
横浜市指定管理費	10,156,300			<消費税込み>
受取寄付金・受取運営協力金		185,987		*個人からの寄付金・寄付金箱，園内整備で出た自然物などへのお気持ち（協力金），催し参加への協力金（実費以外）
自動販売機 会費		36,000 71,000		
経常収益計	10,156,300	292,987	10,449,287	
II 経常費用				
1. 事業費				
(1) 人件費				
①施設管理人件費	1,601,715			
②自然再生人件費	1,246,746			
③田んぼ人件費	1,666,524			
④環境教育人件費	858,990			
⑤自然の普及人件費	848,990			
事業管理人件費	415,172			
法定福利費	509,615			
福利厚生費	65,000			
人件費計	7,212,752		7,212,752	
(2) 事業費				
①施設管理	724,500			*トイレ施設管理委託 142,450
②自然再生	121,729			
③田んぼ	57,000			
④環境教育	111,342			
⑤自然の普及	119,220			
一般会計（支出1）		269,714		
事業費計	1,133,791	269,714	1,403,505	
(3) 事業管理費ほか				
通信費	136,950			
事務諸費・消耗品	83,250			
会議費・来客等	18,250			
旅費・市内交通費	36,500			
事業管理費ほか計	274,950		274,950	
事業費計	8,621,493	269,714	8,891,207	
2. 管理費				
(1) 人件費				
管理人件費	417,672			
法定福利費	45,385			
福利厚生費	115,000			
人件費計	578,057		578,057	
(2) その他経費				
通信費	13,450			
事務諸費・消耗品	7,750			
会議費・来客等	1,750			
旅費・市内交通費	3,500			
役員（交通費・通信費補填）	7,000			
租税公課	923,300			
一般会計（支出2）		23,273		
その他経費計	956,750	23,273	980,023	
管理費計	1,534,807	23,273	1,558,080	
経常費用計	10,156,300	292,987	10,449,287	
当期正味財産増減額	0	0	0	